

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201943
事業所名	アバンセグループホームこころ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	運営推進会議に地域の有力者(町内会、老人会の代表等)が参加し、貴重な意見をもらっている。 地域の祭りでは獅子舞がホームに立ち寄り、利用者を喜ばせている。 ホームイベントの食事会やクリスマス会には、地域から10名程が参加する。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	運営推進会議を毎奇数月に開催し、利用者、家族、地域包括支援センター職員、町内会長、老人会(曾友会)会長、薬剤師(利用者の友人)等の参加がある。 運営状況の報告の後、目標達成計画のモニタリングを実施し、活発な意見交換を行っている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	市の担当者の運営推進会議への出席はないが、毎回地域包括支援センターの職員の参加があり、ホームの状況は市に伝わっている。 生活保護を受給している利用者が6名いることから、市の生活保護担当者とは密な連携を図っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	契約時に十分な時間を取って法人やホームの考え方を説明しているが、その後家族から疑問や質問が出た場合にも、丁寧に説明を加えている。 家族対応となっている通院の付き添いに関しても、家族の都合を考慮して親身に相談に乗っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎			